

湖北

宮中行事「新嘗祭」に献上する米を栽培する献穀田の「お田植行事」が5月15日、長浜市加田町の水田で行われた。献穀は毎年行われており、県内を6ブロックに分けて持ち回りになっている。長浜市での実施は市町村合併後では初めてで、献穀者に福永利平さん（76）＝同市勝町Ⅱが選ばれた。

最初に地鎮祭が行われ、福永さんと藤井勇治市長ら約30人が参列して豊作を祈った。

【長浜通信部・長谷川隆広】



献穀田で丁寧に苗を植える早乙女たち

長浜

豊作祈り
献穀田でお田植行事焼鯖そうめん
医療従事者を支援

長浜

作曲家や映像クリエイターらで作る「さば太郎プロジェクト」のメンバー4人が5月14日、長浜市に「焼鯖そうめんのカップ麺」200個と「長浜さばそうめん音頭」を収録したDVD35枚を贈った。カップ麺は、商社の長浜萬商（同市）が開発し、昨年2月に発売。既に2万個が売れたという。感謝の気持ちを込めて、新型コロナウイルス感染症拡大で最前線に立つ医療従事者向けに寄贈することにした。DVDは同プロジェクトが昨夏制作。黒壁スクエアや竹生島など長浜市の観光地を歌詞に盛り込み、テンポのよい曲に合わせている。



藤井勇治市長（右から2人目）と「さば太郎プロジェクト」メンバー

さば太郎プロジェクトは「夜勤の時にでも医療従事者に焼鯖そうめんを食べてもらいたい。DVDは、小中学校へ寄贈するので郷土愛を持ってもらえれば」としている。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

セネガルの小学校に
絵本を贈呈 彦根RC

彦根ロータリークラブ（大）が5月20日、西館康伸会長）が5月20日、西アフリカのセネガルの小学校に仏語訳の絵本800冊を寄贈した。国際奉仕事業の一環で、同日午後7時半から彦根市とセネガルの会場をオンラインでつなぎ、贈呈式も催した。

ラリーードライバーの篠塚建次郎さん（72）らが仲介し実現した。篠塚さんは1997年、セネガルの首都を目指す「ダカール・ラリー」で優勝している。2002年には同

国に小学校も設立し、ラリー出場のために子供たちに文房具も届けてきた。

セネガル会場には児童ら約500人が集まり、太鼓や踊りなどで喜びを表現。アマール・セイ校長が「大陸を渡る支援に感謝します。将来のために役立てたい」とあいさつ。

彦根会場に駆けつけた篠塚さんも「来年はアフリカを再訪し、エコレースに参加したい」とも応えていた。

【彦根通信部・伊藤信司】

渋沢栄一に「お金」
学ぶ絵本 彦根商議所

彦根



渋沢栄一が登壇する絵本を和（左）田裕（右）を会長とする彦根商議所青年部（瀧主介会長）が彦根市に寄贈した。

新1万円札の顔になる渋沢栄一を取り上げた絵本「おかねってなあに？」を5月24日、彦根商議所青年部（瀧主介会長）が彦根市に寄贈した。お金の大切さを教える内容でA4判、39ページ。日本商工会議

所青年部が全国で配布を進めている。

絵本では古代に貝が使われた貨幣の歴史から紹介。現在は特殊な紙を使って政府が発行、管理するようになったと解説している。お金の使い方として①使う②ためる③寄付する④働かず——を挙げている。渋沢のキャラクターが登場し「よく集め、よく散ぜよ」などと格言も語りかけている。

同市立の小学校と図書館向けに計35冊が寄贈された。受け取った和田裕市長は「彦根から未来の渋沢栄一を誕生させるため、使わせていただきたい」とお礼を述べた。

【彦根通信部・伊藤信司】